

緊 急 声 明

平成 26 年 7 月 7 日

(公社)富山県サッカー協会

4 種主管団体 富山サッカー友の会

このたび、マスコミ等で報道されたように本会所属の魚津地区 UOZU FOOTBALL CLUBU スペランザの指導者が、平成 26 年 5 月 18 日に富山市殿様林グラウンドで行われた第 38 回全日本少年サッカー大会富山県大会 4 日目の 13:35 分頃、試合前のウォーミングアップ中ゴール裏で所属選手に体罰を与えていたことが前試合を撮影していた父兄の映像で判明した。

本会へは 6 月 30 日 15 時 33 分に一般の方から本会の事務局に You Tube で試合が流れているが後半の 4 分 12 秒のところゴール裏でアップしているチームの体罰が写っているとの通報があった。映像を確認したところ体罰行為に当たると認められた。該当チームを調査したところ上記チームと判明、当日は 2015 年度スケジュール調整のための会議を開催する予定だったことから他の役員も招集し臨時の規律委員会を開催した。

本委員会は当事者から事情聴取と事実確認を行ったが、本会の指導者としてあるまじき行為であり、当該児童や保護者に対し即座に謝罪し、他チームの関係者にも多大な迷惑をかけたことを猛省するよう当該指導者に厳命した。また、本委員会は体罰行為を認定し、2 シーズン後の 2016 年 3 月 31 日までの公式試合・練習を問わず指導者活動全般の停止を命じた。本会として至急に謹慎措置を取るべく活動停止処分を命じたが、重大な行為であり県サッカー協会から日本サッカー協会への報告の上、正式の処分が決定するまでの措置とする。

このような行為が発生したことは極めて遺憾であり、改めて関係者の皆様方に対して深くお詫び申し上げます。

本会では、このような体罰行為に対しては近年のスポーツ団体の体罰事件に鑑み、日本サッカー協会や県サッカー協会と連携しながら所属チームに対して体罰に関する調査や体罰防止の通達を行うなどして、体罰防止に努力してきたところではありますが、今回の事態を受け、改めて所属チームの指導者に対し指導規範の更なる順守を徹底するなど再発防止に全力を挙げることをお約束します。

まずは、今週末の 12 日に地区の代表者を集め、再発防止の研修会を行うとともに、17 日の県サッカー協会による研修会には 4 種全チームから指導者を参加させ再発防止に努力します。